

* 研究目的

日本語を学ぶ上で文化を切り離して考えることはできない。日本語教育の分野においても初級レベルの日本語教科書から言語そのものの情報に加え、言語にまつわる文化的要素の記述は必須である。また、茶道、華道、書道、近年では俳句、落語、漫画等が、教科書あるいは学習活動の題材として取り上げられる。しかし、そもそも日本語教育の中で取り扱うべき文化とは何なのか、それを定義づけその本質を見極めようとしてきたわけではない。また、決して「文化」の専門家ではない日本語教師がどのようにどこまで文化を教授内容として取り扱ってよいのか、日本語学習のプロセスの中で学習者が感じる文化摩擦をどう解消していけばよいのか、など教育現場において発生する具体的な諸問題を分析し論考した先行研究は数少ない。

本研究では、日本語教育において学習者に伝えるべき文化とは何かを追究するとともに、文化継承の試行的実践とその学習効果についての測定、そしてこの研究のプロセスを通して日本文化理解のための学習者向け日本語教材を開発することを目的とする。

* 研究チームメンバーと研究課題

トーマス・M・マック 国際言語文化センター・教授

研究テーマ：日本語学習者から見た「異文化」としての日本文化

佐藤泰弘 文学部・歴史文化学科・教授

研究テーマ：日本史研究をどう日本語教育に生かすか

廣川晶輝 文学部・日本語日本文学科・教授

研究テーマ：「菟原娘子伝説」についての日本語学習者の理解の推進方法

谷守正寛 国際言語文化センター・准教授

研究テーマ：日本語教育における文化の教授法の現状とその問題点

森川結花 国際言語文化センター・日本語特任講師

研究テーマ：日本語教育における言語学習と文化体験学習の融合カリキュラムデザインのカンセツ

唐津麻理子 アリゾナ大学・東アジア研究科・准教授

研究テーマ：北米(特にアリゾナ州)における日本文化の継承の実態と日本語教育

スティーブン・D・ラフト ピッツバーグ大学・人文学部・東アジア言語文学部・講師

研究テーマ：日本語教育における「文化」の壁

長須実香 上智大学・言語教育研究センター・講師

研究テーマ：日本語学習と「身体感覚」

青木利江 フィンドレー大学・言語文化学部・講師

研究テーマ：日本語学習における日本的「丁寧さ」の教授法